

令和 8 年 9 月 11

保護者様

横浜市立下末吉小学校
校長 千葉 寛興

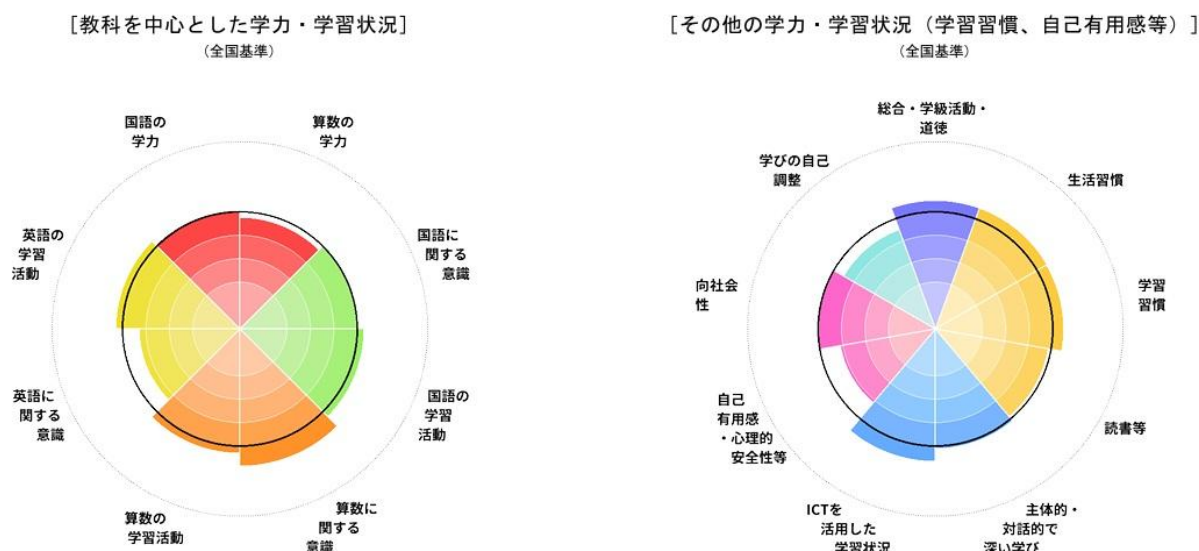
令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果についてのお知らせ

今年4月に全国の小学校6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、今後の本校としての取組についてご報告します。

今回の調査結果を受け、お子さん一人ひとりが力をさらに高めていけるように、今後も教育活動を行ってまいります。保護者の皆様には、本調査の趣旨を十分理解していただきますよう、お願いいたします。

1 今年度の調査結果の概要

(1)教科を中心とした学力・学習状況及び、学習習慣、自己有用感等の分析チャート



(2)教科別学習状況調査結果(網掛けは全国平均を上回った内容です。)

<国語>(一部抜粋)

分類			○全国平均を上回り、よい状況と考えられる内容	本校 (%)	全国 (%)
全体			▼全国平均を下回り、指導・改善が必要と考えられる内容	61	60.9
学習指導要領の内容	知識及び技法	言葉の特徴や使い方に 関する事項	○比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうかをみる ▼学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	61.5	66.8
		情報の扱い方に 関する事項	○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる ▼考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる	52.1	52.3
	思考力、 判断力、 表現力等	話すこと・ 聞くこと	○相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるかどうかをみる ▼資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる	68.1	65.8

	書くこと	○引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかをみる ▼筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかをみる	43.8	45.7
	読むこと	○目的に応じて、必要な情報を見付けることができるかをみる	72.9	65.9

<算数> (一部抜粋)

分類		○全国平均を上回り、よい状況と考えられる内容 ▼全国平均を下回り、指導・改善が必要と考えられる内容	本校 (%)	全国 (%)
全体			53	56.4
学習指導要領の領域	数と計算	○基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかをみる ▼単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えることができるかをみる	58.0	61.1
	図形	○体積の意味について理解しているかをみる ▼立方体の体積の計算による求め方について理解しているかをみる	56.0	55.3
	測定	▼示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができるかをみる	72.0	78.1
	変化と関係	○基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかをみる ▼単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できるかをみる	36.0	41.1
	データの活用	○帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかをみる ▼示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかをみる	47.0	48.6

(3) 質問紙調査で「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計が全国平均を10%以上、上回ったもの

質問内容	本校%	全国%
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	91.7	80.1
PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると思いますか	91.7	79.1
あなたは自分がPC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか	83.4	69.5
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	83.3	66.4
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	91.7	77.6
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	91.7	79.9
総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	91.6	79.7
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	95.9	81.5

学級会における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	87.5	77.3
5年生までにうけた授業では、国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか	95.9	78.3
算数の勉強は好きですか	74.9	57.6
5年生までに受けた授業では、算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか	75.0	63.0

2 今後の取組について

本年度の調査では、国語については全国平均に達しました。また、算数においても、全国平均との差を詰め、全般的には学力向上の傾向にあると考えています。一方で、調査項目の中には全国平均を下回るものも散見されます。今回の調査を受け、特に児童が苦手とする領域については、継続的な指導改善を図っていきたいと考えています。

国語では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」などで全国平均を超える正答率がみられました。これは、日々の授業やたてわり活動などの取組における対話的な活動の充実の他に、学習において文章や資料の中から根拠を見つけ、発言する取り組みの成果と考えられます。一方で、漢字の理解と活用、複数の情報から分かることを導き出すことや、論理的な文章構成に関する内容についての定着に課題がみられました。質問紙調査では「5年生までにうけた授業では、国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか」について、積極的に取り組んでいた様子がうかがえ、子どもたちの表現することに対する意欲は高いとみています。今後、ドリル学習や宿題といった、日常的に取り組む学習で漢字などの基礎的・基本的な内容の定着を図りつつ、構成を意識して文章表現を行えるよう、引き続き指導を進めていきたいと考えます。

算数では「図形」領域で全国平均より高い正答率となりました。図形の構成要素に関する問題での正答率が高く、算数少人数指導によるきめ細かい対応の成果と考えています。一方で立方体の体積の求め方では、全国平均を下回っています。国語同様、基礎的・基本的な内容の理解の充実が課題です。また、数と計算の領域では、図を見て数量関係を正しく把握する力に優れる傾向がみられました。しかしながら、分数や単位量などを計算処理することや、式から数量関係を把握することに課題が見られました。その他「思考・判断・表現」を問う問題では、正答率が全国平均を下回る傾向がありますが、全国平均と 0.5 点差(全国 9.0 問、本校 8.5 問)であることから、算数に関する理解が全般的に高まっていると言えます。その背景の一つとして、「5年生までに受けた授業では、算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか」の質問に対して、積極的に取り組んでいたという回答が多く、子ども達に学んだことを活用しようとする高い意欲があると推察されます。今後の取組としては、ドリル学習や宿題といった、日常的に取り組む学習で計算力を高めるとともに、図と式を関連付けて考える指導を、より充実させていきたいと思います。

質問紙調査(生活や学習に関する意識調査)では、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に対して「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の答えが合わせて 90%を超えていました。また、課題に対して意欲的に資料を集め、表現することや、学級活動などの話し合いの場に積極的に参加している傾向が顕著でした。この結果は、小規模校ならではの、互いの顔の見える関係の他に、ご家族や地域の皆様など、多くの方々との交流を通し、社会参画する意識が育まれていると考えています。子ども達が思いやりの心を育むことができる、下小のよさを大切にしていきたいと思います。

今後も、下末吉小学校とそこで学ぶ子ども達のよさや強みを大切にして、子ども達が未来をたくましく、しなやかに生きていく力を身に付けられるよう、教職員一同、研鑽を重ねてまいります。